2022 年 度 (令和4年)

自 2022年(令和4年) 4月 1日
至 2023年(令和5年) 3月31日

事業計画書

社会福祉法人 地 の 星

社会福祉法人地の星

「本部」

1 法人基本理念

〈共に生き、寄り添う支援〉

社会福祉法人地の星は、その前身であるベロニカ苑の創設理念を継承し、キリストが弱い立場の人々に寄り添ったように、ハンディを持つ人々と共に生き、一人ひとりのかけがえのなさとして人間の尊厳を大切に、すべての人が安心して平和に暮らすことができる地域社会づくりに貢献します。

2 スタッフの行動指針

1、一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、人権を守ります。

1、それぞれの可能性を信じ、個性や主体性を大切にします。

1、市民の一員として、社会参加・経済活動ができるよう積極的に支援します。

1、利用者とスタッフは、人間としての上下関係がなく、共に日々活動します。

1、スタッフは、それぞれの専門性向上と自己点検を怠らず、研鑽に励みます。

(注) スタッフとは、地の星で働く全職員です。

3 2022年度の方針

(1) 法人理念に沿い、一人ひとりの利用者の現在・未来を大切にする支援を行う。

① 利用者の心身の健康状態を把握し、感染症予防対策を強化していく。また、感染症BCPに沿って利用者支援が継続できるよう取り組む。

② 利用者・ご家族・スタッフの高齢化に取り組む。

・利用者：一人ひとりの状況を把握し、可能性を大切にする支援をしていく。

・ご家族：面談等を通じて相談できる関係を構築していく。

・スタッフ：経験を活かし、長く続けられるよう体力に応じた働き方を提供し、若いスタッフと協力して利用者支援を行っていく。

③ 第三者評価の受審結果を全スタッフで共有し、よりよい支援に繋げていく。

④ 利用者の通院支援や余暇活動支援の充実と各家庭の負担減を目指し、ヘルパー事業所の開設を検討する。

(2) 環境に最大限配慮した生活を目指す。

① 大規模修繕中は取組みが難しくなっていた環境対策を地の星創設の原点に戻す。

・必要以上の電気や水道使用を控える。

・備品や日用品を大切にする。

・計画に沿った行動を心掛ける。

② 地の星で使用する食材（食事用・販売用）は、できる限り添加物を避け安心安全なものを選ぶ。また日用品・消耗品なども衛生面で使い捨てとなるものを除き、再生可能、廃棄後有害物質の出ないものを使用する。

③ 整理・整頓・清掃・清潔を意識した行動をし、習慣にしていける。

(3) スタッフの定着支援を行っていく

- ① 処遇改善加算及び特定処遇改善加算、処遇改善臨時交付金を申請・取得し、スタッフの賃金引上げに努める。
- ② 職場環境（適正な仕事量の調整、良好なコミュニケーション作り、個人面談等）の充実を図り、ストレスチェックを実施する。
- ③ 新スタッフ採用に向け、福祉学科のある大学や専門学校等の訪問をし、就職指導担当者との関係を深める。また地の星ホームページで人材募集情報の充実を図る。
- ④ スタッフの国家資格取得取り組みの支援をする。

(4) 経営基盤の強化

- ① 責任者への連絡・報告姿勢を強化し、コンプライアンスを徹底する。
- ② 資金収支がマイナスとなっている事業の見直しを行い、対策を実施する。
- ③ 日頃の活動や法人内の資金収支などをホームページ等での確に情報開示する。
- ④ 新事業や大規模修繕など、地の星の財政を支える後援会の活動を応援し、会員増を目指す。
- ⑤ 中長期計画（事業及び資金）を策定する。

(5) 地域における公益的な取り組み

- ① 地区委員会など地域の活動グループへの参加を通し、地域の必要なニーズに応える。
- ② 地域の買い物支援を継続する。
- ③ 利用者実習等を、感染症対策を取りつつ実施していく。
- ④ 中間的就労の場を提供する。

(6) 情報の公開と発信

- ① 広報地の星を年3回程度発行し、利用者の活動や法人の取り組みを知っていただく。
- ② ホームページを通じて、できるだけ早い情報をお届けする。

4 理事会、評議員会の開催

<理事会>

6月2日（木）、11月11日（金）、3月3日（金）

- ・必要に応じて臨時理事会を開催する。

<評議員会>

6月18日（土）、11月25日（金）、3月17日（金）

「虐待防止委員会」

人権保護の観点から虐待防止と適切な対応を図ることを目的として設置する。
法人内で発生した虐待と疑われるような事例に関しては、速やかに検証し、再発防止に繋げる。

開催日時・・・隔月1回（16：15～17：00）

構成員・・・全事業所全スタッフ（事務スタッフ、送迎スタッフ含む）
シルバー人材センター等委託事業所にも適時説明会を開催

内容・・・事例検討、アンガーマネジメント、意思決定支援、権利擁護
強度行動障害の支援について

- *各事業所（ベロニカ苑、ベロニカ苑Ⅱ、ひかり）が持ち回りで企画し、それぞれの視点での委員会を開催する。
- *新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、小グループまたは、サポーターズカレッジを活用した研修を実施する。

「リスクマネジメント会議」

- ・ 法人内で発生した事故、ヒヤリハットについて、情報収集及び分析、再発防止を目的とする。
- ・ 隔月に各事業所の会議で行い、常にリスクマネジメントを意識した支援に繋げる。
- ・ 重大な事故が発生した時には臨時開催し、速やかに再発防止に繋げる。

附則

- ・虐待防止委員会及びリスクマネジメント会議で挙げた事例等は、定期的に第三者委員に報告する。

1	<リスクマネジメント研修>	各事業所責任者 各事業所会議で実施
2	<虐待防止研修> *全事業所対象（サポカレ使用）	各事業所サビ管持ち回り 各事業所会議で実施
3	<全体スタッフ研修> ・法人理念・就業規則 ・2022年度事業計画・収支計画説明 ・各種マニュアルの見直し・確認 ・各事業別ミーティング <リスクマネジメント研修>	理事長、各事業所責任者 各事業所サビ管持ち回り 各事業所会議で実施

<附則>

*全体研修は、新型コロナ感染症の状況に応じて事業所別研修に変更し、各事業所に即した内容で行う。

*各種マニュアル：よりよい支援Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 感染症・事故防止・防災

<他>

*新入職スタッフはテキスト「はじめて働くあなたへ」のレポート提出を課し、報告をする。

*2021年度事業報告は理事会、評議員会承認後、スタッフへ配布し、事業所の会議で責任者から報告を行う。

<外部研修>

*理事長、管理者の推薦及び本人の希望により東社協等主催等の研修に派遣する。
オンラインでの研修も含める。

「防災計画」

1、基本目的・基本方針

防災訓練を実施するにあたって、災害時に利用者・スタッフ・関係者がスムーズに避難ができるようにする。

研修等で防災マニュアルの改訂を行い、防災と減災に努めるようにする。

建物内の5つのS（整理、整頓、清掃、清潔、習慣）に努め、有事の際にも落ち着いて対応できるようにする。

二次避難所としての役割を担えるように町田市と連携し、情報交換などを行う。

(1) 防火管理者を中心に防災活動に努め、非常時に備える。

- ・非常用備蓄用品を防災倉庫に備蓄し、防災訓練日に使用期限や入れ替え等、備品のチェックを行う。
- ・定期的に防災、避難訓練を利用者、スタッフともに行い、常に防災の意識を持って情報の共有を行うようにする。
- ・東日本大震災を教訓として3月に*総合防災訓練を実施する。
*総合防災訓練とは、大規模な災害を想定して、(帰宅困難を想定)全利用者家族の迎えを兼ねた訓練とスタッフの防災備品取扱い訓練を指す。

(2) 町田市の二次避難所施設として、災害の際は施設利用者だけではなく、近隣住民も避難できる施設作りをする。

- ・協定している近隣施設と連携。(まちだ正吉苑)
- ・近隣福祉施設と協定を継続し、近隣自治会と協力体制を結べるよう協議を行い、非常時に社会福祉法人(福祉施設)として役割を担えるようにする。

(3) スタッフ各自非常時の任務(担当)を熟知しておく。

- ・自衛消防隊の編成と任務、日常の火災予防の担当者と日常の注意事項を熟読しておく。

2、防災訓練予定日程 (下記の日程で弁天橋公園まで避難)

- ・毎月15日に実施
- ・3月11日(金)(総合防災訓練)
- ・訓練後の夕方、スタッフによる簡易担架を使った搬送訓練を実施。

3、他

- ・防災用品他、日頃から衛生用品の確保も行い、災害時に備える。
- ・備蓄用品の情報収集を行い、出来るだけ確保できるように努める。
- ・BCP(事業継続計画)に沿い、防災上安全に行われるように協力しあい、防災マニュアルを参考に普段から防災に関する意識をもって業務にあたるようにする。

2022年度 地の星 年間予定表

公休122日

4月				5月				6月				7月				8月				9月						
	ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり			
1	金	始業式	始業式	1	日	休日	休日	1	水	経営会議	経営会議	経営会議	1	金			1	月			1	木				
2	土	休日	休日	2	月			2	木	理事会	理事会	理事会 GH責任者会議	2	土	休日	休日	2	火			2	金				
3	日	休日	休日	3	火	休日	休日	3	金				3	日	休日	休日	3	水	経営会議	経営会議	経営会議	3	土	休日	休日	
4	月			4	水	休日	休日	4	土	休日	休日	神社前誕生会	4	月			4	木			GH責任者会議	4	日	休日	休日	
5	火			5	木	休日	休日	5	日	休日	休日		5	火			5	金	健康診断	健康診断	健康診断	5	月		つばさ誕生会	
6	水	経営会議	経営会議	6	金			6	月				6	水	経営会議	経営会議	6	土	休日	休日		6	火			
7	木		GH責任者会議	7	土	休日	休日	7	火			GH会議	7	木			7	日	休日	休日		7	水	経営会議	経営会議	経営会議
8	金		清風園販売	8	日	休日	休日	8	水	施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	8	金		清風園販売	8	月				8	木		GH責任者会議	
9	土	休日	休日	9	月			9	木				9	土	休日	休日	9	火			GH会議	9	金		清風園販売	
10	日	休日	休日	10	火	皆勤賞	給料日	10	金	皆勤賞	給料日 清風園販売		10	日	休日	休日	10	水	皆勤賞 施設連絡会	給料日 施設連絡会	施設連絡会 ひかり誕生会	10	土	休日	休日	
11	月		給料日	11	水	経営会議	経営会議	11	土	休日	休日		11	月		給料日	11	木	休日	休日		11	日	休日	休日	
12	火	皆勤賞		12	木		GH責任者会議	12	日	休日	休日		12	火	皆勤賞		12	金		清風園販売		12	月			
13	水	施設連絡会	施設連絡会	13	金	防災訓練	清風園販売	13	月				13	水			13	土	休日	休日		13	火		GH会議	
14	木			14	土	休日	休日	14	火				14	木	施設連絡会	施設連絡会	14	日	休日	休日		14	水	施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会
15	金	防災訓練	清風園販売	15	日	休日	休日	15	水	防災訓練 G長会議	就労会議		15	金	防災訓練		15	月	防災訓練			15	木	防災訓練		
16	土	休日	休日	16	月			16	木				16	土	休日	休日	16	火				16	金			
17	日	休日	休日	17	火		GH会議	17	金				17	日	休日	休日	17	水	G長会議	就労会議		17	土	スタッフ研修	スタッフ研修	スタッフ研修
18	月	イースター	イースター	18	水	施設連絡会	施設連絡会	18	土	評議員会	評議員会	評議員会	18	月	休日	休日	18	木				18	日	休日	休日	
19	火			19	木			19	日	休日	休日		19	火			19	金				19	月	休日	休日	
20	水	G長会議	就労会議	20	金			20	月				20	水		フレンズ販売	20	土	休日	休日		20	火			
21	木			21	土	休日	休日	21	火				21	木	G長会議	就労会議	21	日	休日	休日		21	水		就労会議	
22	金	2Fフロア会議		22	日	休日	休日	22	水				22	金			22	月	4Fフロア会議			22	木			
23	土		休日	23	月	4Fフロア会議		23	木	運営協議会	運営協議会	運営協議会	23	土	休日	休日	23	火	3Fフロア会議			23	金	休日	休日	
24	日	休日	休日	24	火	3Fフロア会議		24	金	2Fフロア会議			24	日	休日	休日	24	水			神社前誕生会	24	土	休日	休日	
25	月	4Fフロア会議		25	水	G長会議	就労会議	25	土	休日	休日		25	月	4Fフロア会議		25	木	運営協議会	運営協議会	運営協議会	25	日	休日	休日	
26	火	3Fフロア会議		26	木			26	日	休日	休日		26	火	3Fフロア会議		26	金	ペロニカ苑まつり			26	月	4Fフロア会議	ひかり誕生会	
27	水			27	金	2Fフロア会議		27	月				27	水			27	土	休日	休日		27	火	3Fフロア会議		
28	木	お疲れ様会	お疲れ様会	28	土	休日	休日	28	火	3Fフロア会議			28	木			28	日	休日	休日		28	水			
29	金	スタッフ研修	スタッフ研修	29	日	休日	休日	29	水				29	金	2Fフロア会議		29	月	2Fフロア会議			29	木	第三者委員会	第三者委員会	第三者委員会
30	土	休日	休日	30	月			30	木	お疲れ様会	お疲れ様会		30	土	休日	休日	30	火				30	金	お疲れ様会 2Fフロア会議	お疲れ様会	
				31	水	ペロニカ苑会議							31	日	休日	休日	31	水	お疲れ様会	お疲れ様会						
15日(金)～22日(金)細菌検査				フロア別家族会(ペロニカ苑) 個人面談(GH) 梅収穫(就労)				日帰り研修(就労) 個人面談(GH)				サマーギフト(就労)				鹿島自治会納涼祭(ペロニカ苑・就労・GH) ペロニカ苑まつり販売(就労)				フロア別家族会(ペロニカ苑) グループ別外出(GH) 総合防災訓練(GH) 成瀬団地防災訓練(GH) 成瀬コミュニティセンター祭り喫茶・販売(就労)						
利用者の会・防災訓練(GH) 公休10日				利用者の会・防災訓練(GH) 公休12日				利用者の会・防災訓練(GH) 公休8日				利用者の会・防災訓練(GH) 公休11日				利用者の会・防災訓練(GH) 公休9日										
																2階日帰りバス旅行月間(ペロニカ苑)利用者の会・防災訓練(GH) 公休10日										

2022年度 地の星 年間予定表

公休122日

10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり		ペロニカ苑	ペロニカ苑Ⅱ	ひかり
1	土 休日 創立記念日	休日		1	火			1	木			1	日 冬期休暇	冬期休暇		1	水 経営会議	経営会議	経営会議 つばさ誕生会	1	水 経営会議	経営会議	経営会議
2	日 休日	休日		2	水 経営会議	経営会議	経営会議 GH責任者会議	2	金		ひかり誕生会	2	月 冬期休暇	冬期休暇		2	木		GH責任者会議	2	木		GH責任者会議
3	月			3	木 休日	休日		3	土 休日	休日		3	火 冬期休暇	冬期休暇		3	金			3	金 理事会	理事会	理事会
4	火			4	金			4	日 休日	休日		4	水 経営会議	経営会議	経営会議	4	土 休日	休日	神社前誕生会	4	土 休日	休日	
5	水 経営会議	経営会議	経営会議	5	土 休日	休日		5	月			5	木		GH責任者会議	5	日 休日	休日		5	日 休日	休日	
6	木		GH責任者会議	6	日 休日	休日		6	火			6	金			6	月			6	月		
7	金			7	月			7	水 経営会議	経営会議	経営会議	7	土 休日	休日		7	火		GH責任者会議	7	火		GH責任者会議
8	土 休日	休日		8	火		GH会議	8	木		GH責任者会議	8	日 休日	休日		8	水 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	8	水 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会
9	日 休日	休日		9	水 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	9	金		清風園販売	9	月 休日	休日		9	木 皆勤賞	給料日		9	木		
10	月 休日	休日	神社前誕生会	10	木 皆勤賞	給料日		10	土 休日	休日		10	火		給料日	10	金		清風園販売	10	金 皆勤賞	給料日 清風園販売	
11	火 皆勤賞	給料日	GH会議	11	金 理事会	理事会 清風園販売	理事会	11	日 休日	休日		11	水 皆勤賞 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	11	土 休日	休日		11	土 スタッフ研修	スタッフ研修	スタッフ研修
12	水 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	12	土 休日	休日		12	月			12	木			12	日 休日	休日		12	日 休日	休日	
13	木			13	日 休日	休日		13	火		GH会議	13	金		清風園販売	13	月			13	月		
14	金		清風園販売	14	月			14	水 施設連絡会	施設連絡会	施設連絡会	14	土 休日	休日	つばさ誕生会	14	火			14	火		
15	土 休日	休日		15	火 防災訓練			15	木 防災訓練			15	日 休日	休日		15	水 防災訓練 G長会議	就労会議		15	水 防災訓練 G長会議	就労会議	
16	日 休日	休日	神社前誕生会	16	水 G長会議	就労会議		16	金			16	月			16	木		神社前誕生会	16	木		
17	月			17	木			17	土 休日	休日		17	火		GH会議	17	金			17	金		
18	火		神社前誕生会	18	金			18	日 休日	休日		18	水 G長会議	就労会議		18	土 休日	休日		18	土 評議員会	評議員会	評議員会
19	水 G長会議	就労会議		19	土 休日	休日		19	月			19	木			19	日 休日	休日		19	日 休日	休日	
20	木			20	日 休日	休日		20	火			20	金			20	月			20	月		
21	金			21	月			21	水 G長会議	就労会議		21	土 休日	休日		21	火			21	火 休日	休日	
22	土 休日	休日		22	火 3Fフロア会議			22	木		神社前誕生会	22	日 休日	休日		22	水			22	水		
23	日 休日	休日		23	水 休日	休日		23	金 降誕祭 2Fフロア会議			23	月 4Fフロア会議			23	木 休日	休日		23	木		
24	月 4Fフロア会議			24	木			24	土 休日	休日		24	火 3Fフロア会議			24	金 運営協議会 2Fフロア会議	運営協議会	運営協議会	24	金		
25	火 3Fフロア会議			25	金 2Fフロア会議 評議員会	評議員会	評議員会	25	日 休日	休日		25	水			25	土 休日	休日		25	土 休日	休日	
26	水			26	土			26	月 4Fフロア会議			26	木			26	日 休日	休日		26	日 休日	休日	
27	木 運営協議会	運営協議会	運営協議会	27	日 休日	休日	ひかり誕生会	27	火 お疲れ様会 3Fフロア会議	お疲れ様会		27	金 2Fフロア会議			27	月 4Fフロア会議			27	月 4Fフロア会議		
28	金 2Fフロア会議			28	月 4Fフロア会議		神社前誕生会	28	水 仕事納め	仕事納め		28	土 休日	休日		28	火 お疲れ様会 3Fフロア会議	お疲れ様会		28	火 第三者委員会 3Fフロア会議	第三者委員会	第三者委員会
29	土 休日	休日		29	火			29	木 冬期休暇	冬期休暇		29	日 休日	休日		29	水			29	水		
30	日 休日	休日		30	水 お疲れ様会	お疲れ様会		30	金 冬期休暇	冬期休暇		30	月			30	木			30	木		
31	月							31	土 冬期休暇	冬期休暇		31	火 お疲れ様会	お疲れ様会						31	金 お疲れ様会	お疲れ様会	

フロア別家族会(ペロニカ苑) 鹿島自治会避難訓練・グループ別外出(GH)
個人面談(ペロニカ苑) いきいき祭り、駅前市民センター祭、
3階日帰りバス旅行月間(ペロニカ苑)
利用者の会・防災訓練(GH) 公休11日

フロア別家族会(ペロニカ苑) グループ別外出(GH)
個人面談(ペロニカ苑・GH) ウインターギフト(就労) 年賀はがき販売(就労)
4階日帰りバス旅行月間(ペロニカ苑) 利用者の会・防災訓練(GH) 公休10日

個人面談(ペロニカ苑・GH)
クリスマス会(GH) クリスマスマサ研修(就労)
利用者の会・防災訓練(GH) 公休11日

個人面談(ペロニカ苑)
とも会の総会+ふれあいコンサート
利用者の会・防災訓練(GH) 公休12日

個人面談(ペロニカ苑) タピオラ風11周年セール(就労)
利用者の会・防災訓練(GH) 公休9日

「給食・栄養管理」

- 1、利用者の皆さんにとって1日で一番楽しみな時間であることを大切に、食事のマナーにも気を配りながら、おいしく美しい盛り付けでゆったり食事ができる環境にする。
- 2、栄養バランスはもちろんのこと、新鮮かつ安全な食材料を使い季節感溢れる献立作りをし、毎月の選択食やバイキングなど自分で選ぶ楽しさも体験できるようにする。
- 3、加工食品や添加物をなるべく使わず、素材の味を生かした調理を心がける。
不足しがちな野菜を多く取り入れられるよう、献立を工夫する。
- 4、家族会時、ご家族の試食会を行い、アンケートを実施する。
利用者の皆さんにも行事食を中心に食べたい献立のリクエストをお願いする。
- 5、グループホーム・ショートステイの食事は、地の星厨房で調理した栄養バランスの摂れた食事を提供する。
また、保温性のある食缶を使用し、各ホームで温かい食事を提供できるよう配食する。
- 6、温冷配膳車の購入を検討する。現在は通常の配膳車を利用しているため、どうしても主菜が冷めてしまう。温かい物はあたたかく、冷たい物はつめたく提供が出来るように、購入費及び構造上の（ダムウエイター）検討を業者と行き、導入を考えていく。
- 7、ベロニカ苑で製造しているパンをランチで提供していく。年4回程度提供できるよう、パン製造スタッフ及び給食会社レパストと相談し、実施していく。

月	行事食	献立配慮	旬の食材	備考
4	始業式お祝い イースター	<ul style="list-style-type: none"> ・春の食材を取り入れる ・年度初めに改めて食事のマナー（手洗い・姿勢・箸の使い方）を見直す。 	菜の花、キャベツ さわら、たけのこ 山菜、いちご、玉ねぎ	お祝い会食
5	端午の節句		キャベツ、たけのこ 山菜、キウイ、かつお	
6		<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の発生しやすい時期なので食品の身の回りの衛生に注意をはらう。 	じゃがいも、えんどう豆 たまねぎ、ごぼう アスパラガス、	
7	七夕 土用の丑の日	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さに負けないよう、食欲が落ちない工夫をする。 ・水分を十分に補給してさっぱりとした食べやすい食事を取り入れる。 	きゅうり、トマト オクラ、レタス、なす ピーマン、とうもろこし	

8	終戦記念日	・夏野菜を取り入れる。	きゅうり、トマト、なす オクラ、レタス、スイカ ピーマン、とうがん	
9	お月見 秋分の日	・ひきつづき食中毒の発生し やすい時期なので食品衛生に 注意する。	秋なす、ぶどう あなご、なし、さんま かぼちゃ	
10	創立記念日 ハロウィン	・秋の旬の食材を多く取り入 れる。	さつまいも、さんま いわし、さば、りんご かき、くり、きのこ	
11			新米、れんこん さといも、さつまいも ねぎ、きのこ、かき	
12	冬至 クリスマス 仕事納め	・寒さに負けないよう体を温 める献立を取り入れる。 (煮込み、冷めにくい料理)	ほうれん草、りんご みかん、だいこん ぶり、ブロッコリー	降誕祭会食
1	新春祝い膳 春の七草 鏡開き 成人のお祝い	・ボリュームのある食事を取 れるように工夫をする。 (のっぺい汁や豚汁など)	だいこん、はくさい れんこん、ごぼう りんご、みかん、かぶ	
2	節分 バレンタインデー	・冬野菜や根菜類を多用する。	いわし、春菊、かぶ いちご、チンゲン菜 こまつな	
3	ひな祭り ホワイトデー 春分の日		わけぎ、いちご いよかん、さわら 菜の花、新玉ねぎ	

「医務・医療」

- 1、利用者の一人ひとりが、心身ともに健康で毎日を気持ちよく過ごせることを、大切にす
る。
- 2、年に一度、利用者、スタッフともに細菌検査、定期健康診断を実施する。
(利用者定期健診は町田市誕生日月健診を利用)
また、歯科衛生指導、歯科医師検診も実施し、必要に応じたケアの促進を図る。
- 3、感染症予防対策として、1日2回の検温実施、体調把握、マスクの着用(可能な利用者、
スタッフは必須)施設内の消毒、1時間おきの換気を行い防御に努める。
嘱託医の巡回と助言を受けながら、状況に応じた対策を実施する。
また、37.5℃以上の発熱があった場合は、医療機関の受診を促し登苑、出勤を禁止する。
医務室が改装され、外から直接医務室に入れるようになったため、苑内で発熱等の症状
が見られた場合、対応ができるまで隔離し、他人との接触を制限する。
- 4、感染症罹患者が発生した場合は、都、市、保健所、嘱託医に速やかに報告し、指示を仰
ぎ、関係者各位に一斉メールやホームページで状況報告をする。
また、衛生用品及び防護服や衣服などを常時確保し、ゾーニングを行い、対応者が二次
感染しない対策を講じる。
- 5、個々の健康面の課題を管理者及び看護師・栄養士・衛生管理者で多角的に検討し、生活
面の改善や医療との連携を図る。
- 6、内服薬の管理、ダブルチェックによる誤与薬の防止、看護師が毎日各フロアをラウンド
し、利用者の健康状態を把握し適宜処置を行う。
- 7、スタッフと連携、ご家庭と連絡を取り健康の維持促進を図る。
- 8、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ対策として、ワクチン接種は嘱託医と連携
し苑内で実施できるよう努める。

生活介護

「ベロニカ苑」

2022年度重点目標

- (1) 利用者一人ひとりが快く感じられるような活動・環境を提供する。
- (2) 報告・連絡・相談を確実にを行い、縦横の連携を強化する。
- (3) 利用者の高齢化・重度化を意識した支援を心掛ける。

1、生活介護 ベロニカ苑 基本方針

- (1) 法人の理念（共に生き、寄り添う支援）に沿って利用者一人ひとりを尊重し、自立した日常及び社会生活を営むことができる支援をする。排泄・食事など個々に必要な介護や創作、生産活動の支援を行う。また、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を提供し、社会人としての自覚、働く喜びが高まるように支援する。
- (2) 利用者個々に応じて個別支援計画と支援の手順書を作成する。行動指針をしっかりと守り、それぞれの気持ちや思いを汲み上げ、必要な支援を明確にして、日々の生活が豊かになるように努める。
また、日々の振り返りを行い、支援の在り方やスタッフ間での情報共有を図る。
- (3) 生産活動は、パン製造・販売、受注作業の拡大を図り、全ての利用者に充実した作業を提供する。そして、「物を作る・売れる喜び」を感じられるよう努める。利用者工賃は収益を、工賃規程に沿って支給する。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策として1時間毎に館内換気を行う。また、車両の使用前後及び療育的活動やレクリエーション等で、共同で使用するマイクや楽器、ボール等の消毒を実施する。
- (5) 利用者の心身の健康状態をご家族と情報共有する。看護師及び主治医からのアドバイスを受け、早期治療や休養ができるようにする。

2、生活環境

グループ単位で利用者を担当する。

一人ひとりの個別支援計画と支援の手順書を基本とし、全体の中で個別に支援活動を実施していく。また防災、清掃の環境整備を行い、言葉遣いなどの基本的な姿勢を再度徹底して、安心安全な生活が送れるように努める。

- (1) 自己表現 ミーティング当番や活動、行事で個々の役割を体験し、主体性・自立性を高めていく。
- (2) 生活習慣 掃除当番や昼食後の食器の片づけや手洗い歯磨き、防災訓練での避難行動を自分で行なえる力、姿勢を身につけていく。

3、行事

(1) 日帰りバス旅行

各フロアでバス旅行を実施する。行先は、各フロアの利用者との相談で決め、ランチ等も選択できる機会を設ける。状況により小グループでの外出とし、また、中止せざるを得ない場合は、各フロア内での小行事とする。

(2) ベロニカ苑まつり

内部での開催とし、各フロアで利用者が楽しめるような内容を企画する。尚、状況に応じて、模擬店等の出店も検討する。

(3) ベロニカ苑降誕祭

との会と協力し、利用者スタッフで楽しめる内容（ミニコンサートなど）を企画して降誕祭をお祝いする。状況によりコンサートが難しい場合は、各フロアで小行事とし、クリスマスを楽しめる内容を企画する。

4、利用者の会

利用者の意見、希望を募る場として、また利用者の自己主張する力を高めるため、週に1回（または隔週）開催し、利用者が主体となって話し合えるよう支援する。特に、行事については、この会をもって利用者の意見を把握する。

5、家族の会

年間計画に沿って全体、フロア別家族の会を開催し、ご家族・ご関係者に活動の様子等を報告する。また、個別支援計画の作成やモニタリングなどその他必要に応じた家族の会の開催も行う。

6、防災及び危機管理計画

毎月、災害に備えた避難訓練を行う。全ての利用者が避難しやすいグループ編成を行い、常に災害を想定した環境を整える。

東日本大震災にちなみ3月10日（金）帰宅訓練を兼ねた総合防災訓練を実施する。

7、苦情受付

より良いサービスを目指し、苦情対応規程に基づき、利用者やご家族からのご意見、苦情等をお受けし、事業や支援の見直しに反映する。

8、年間の行事

利用者の社会経験の幅を広げ、日常の活動とは異なる体験を楽しみ、仲間やボランティアとの触れ合いを深めることができるよう、年間の予定に沿い多様な行事を開催する。

9、スタッフ会議、研修

よりよい支援を提供できるよう、情報の共有やスタッフ同士のコミュニケーションを図るためスタッフ会議を開催する。

スタッフが専門職として技能技術を研鑽するため、法人理念やスタッフの行動指針に基づき、利用者の重度化や高齢化への対応など重点的な支援課題を研修テーマとする。

また、自ら必要な知識などが習得できる研修に積極的に取り組む。

10、見学、実習、研修などの受入れ

今後利用に向けた実習や、特別支援学校等の在学生の体験実習を受け入れる。社会福祉法人の社会貢献の一環として学生や社会人の福祉実習を受け入れる。ただし、介護等体験は、新型コロナウイルス感染症防止のため、受け入れを中止とする。

11、ボランティアの受入れ

利用者との交流や知的ハンディのある方への理解を深めていただくことを目的として、積極的に受け入れる。

【主な活動】

療育的活動

2階	<p><u>創作活動</u></p> <ul style="list-style-type: none">・月毎に、季節を楽しめる壁画制作やカレンダー制作、フロア装飾など多くの利用者が関われるように実施します。 <p><u>室内レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none">・音楽は利用者のリクエストで決めた月替わりの歌を朝唄い、カラオケ大会も月1～2回実施します。運動は朝のダンスを月替わりで行い、卓球や室内ゴルフ、DVDを利用した体操など楽しみながら体を動かす事ができるようにします。また、利用者が読み聞かせる紙芝居や体験型のゲーム等、利用者主体で楽しめるプログラムを行います。音楽や光を使ったスヌーズレンを取り入れ、リラックス出来る時間と空間を提供します。 <p><u>外出レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none">・リフレッシュ活動の一環として、近隣の公園の散策やドライブを楽しみます。また、感染症等状況を考慮しながら、ショッピングモール等公共施設へ出かけます。・外出先では、利用者の希望に応じてドリンク等を購入する機会を設けます。
3階	<p><u>創作活動</u></p> <ul style="list-style-type: none">・利用者一人ひとりの個性が活きるよう、また楽しんで参加できるよう創意工夫をしていきます。・1階の壁画作品や、季節の行事に応じた作品を制作します。 <p><u>花壇</u></p> <ul style="list-style-type: none">・地の星入口や裏庭に季節に応じた草花を植え、草むしりなど手入れをしていきます。・草花を育てることの他、外気浴も目的として実施します。猛暑日は、体調管理を徹底し、*「<u>外活動ガイドライン</u>」に沿って実施します。 <p><u>室内運動</u></p> <ul style="list-style-type: none">・映像や音楽等を用いて楽しみながら、体を動かす機会を提供します。

	<p>また苦手な方、不安な方にも無理なく楽しく参加できるプログラムを提供します。</p> <p><u>室内レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居や、DVD鑑賞を行います。内容を利用者と一緒に選び、楽しく過ごせる時間を設けます。 ・音や光・香りなどを用いたスヌーズレンを行い、利用者のリラクゼーションとなる時間・空間を提供します。 <p><u>外出レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ活動の一環として、近隣の公園の散策やドライブを楽しみます。また、感染症等状況を考慮しながら、ショッピングモール等公共施設へ出かけます。 ・外出先では、利用者の希望に応じてドリンク等を購入する機会を設けます。 <p><u>音楽</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーボード演奏に合わせ、楽器を鳴らし、歌を唄います。また手遊びなどで、身体を動かし楽しみます。新型コロナウイルス感染症対策として、楽器使用前後はアルコール消毒を行います。
4階	<p><u>創作活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや季節に応じた工作を行いフロアに飾ります。 ・利用者が、積極的に参加したいと思う作品作りを提供していきます。 <p><u>ウォーキング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな環境の中で、健康を意識して歩くことにより生活習慣病予防や、ストレス発散といった効果を期待し、体力向上や気分転換を図ります。 <p><u>外出レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ活動の一環として、近隣の公園の散策やドライブを楽しみます。 ・外出先で好きな飲み物を購入し、利用者が楽しめる時間を提供します。 <p><u>室内レクリエーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタープロジェクターライトを使用し(スヌーズレン)、壁や天井一面に星や雲を映し出す感覚刺激と、癒しのある音楽を流して心身共にリラックスできる時間を提供します。

*外活動ガイドラインについては、環境省における暑さ指数（WBGT）を基に行います

外活動ガイドライン

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活環境の目安	ショッピング配布	美化パトロール	外出レクリエーション
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で起こる危険性あり	車両を使用する。30分以上の炎天下を避け、木陰や車内で水分補給・休憩をとる。途中で利用者・スタッフともに交代。	中止。 車両を使用した外出レクリエーションに変更。車外は20分程度の短時間とし、水分補給をとる。	車外は炎天下を避け、20分程度の短時間とし、水分補給をとる。
厳重警戒 (28～31℃)		30分以上の炎天下を避け、木陰で水分補給・休憩をとる。	休憩は、炎天下を避けた場所で行い、水分補給を十分にとる。	休憩は、炎天下を避けた場所で行い、水分補給を十分にとる。
警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動で起こる危険性あり	体調に十分注意し、水分補給しながら通常通り実施。	体調に十分注意し、水分補給しながら通常通り実施。	通常通り実施。
注意 (24℃以下)	強い生活活動でおこる危険性あり	通常通り実施。	通常通り実施。	通常通り実施。

※温度基準 (WBGT) は、「環境省 熱中症予防情報サイト」東京の数値とする。

午前活動・・・9:00の数値

午後活動・・・12:00の数値

生産活動（個別支援計画に沿って、全フロア各利用者に合った活動に参加します。）

パン・焼き菓子の製造、販売	<ul style="list-style-type: none">・ハサップの施行に伴い、衛生管理を遵守して、国産小麦を使用した安心で安全なパン・菓子を製造、販売します。・利用者に試作や、皆勤賞などを一緒に作ってもらう機会を増やします。 パン作業に興味のある利用者は、厨房での作業を体験してもらい、参加できる利用者を増員できるように支援します。 また、製造だけではなく材料の買い物や納品などに多くの利用者が関われるように努めます。・定期的にチラシやポスターを作成し、販売促進、販路拡大に努めます。・新作パンを製造し、販売に変化がつくようにします。・近隣、関係機関の行事や祭などに参加し、第2、4日曜日はカトリック町田教会で販売します。（状況により）・町田荘に月一回パンの納品に行き、毎月新作パンを提供します。・スタッフは業務内容を共有、確認事項を遵守し、信頼を得られる製品を継続して提供します。また、業務の効率化が出来るよう努めます。
広報・チラシ配布	<p><u>広報折り</u></p> <ul style="list-style-type: none">・3か月毎に1,400枚の広報紙を2つ折りまたは3つ折りにした後、封筒に入れ、テープ止めします。 他、封筒の線引き、カット作業、ハンコ押し作業、住所のシール貼り、組み作業など様々な行程があり、利用者に合わせ作業分担を行います。 <p><u>広報配布</u></p> <ul style="list-style-type: none">・社会と関わる機会を増やし、活動のアピールができるように、地の星近隣、学校関係、グループホーム周辺、市役所などに配布します。 <p><u>チラシ配布</u></p> <ul style="list-style-type: none">・地の星が主催するイベントやスタッフ募集のチラシ等のポスターを作成して、近隣や関係機関に配布、掲示します。
受注作業	<p><u>シヨッパー折り</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ポストに投函しやすいように四つ折ります。作業が難しい方でも道具を使って折り目を付けるなどスタッフと一緒にいき、多くの利用者が関われるようにします。 チラシがある時は、チラシも一緒に折り込みます。 <p><u>シヨッパー配布</u></p> <ul style="list-style-type: none">・1,680部を11コースに分け火曜～金曜に配布します。成瀬駅周辺や急坂な場所は車を使用して配布します。 夏場は体調面などに配慮し、「外活動ガイドライン」に沿って配布します。 また、利用者2～5名、スタッフ2～3名の少人数のグループで配布し安全に努めます。 <p><u>菓子の箱組み立て</u></p> <p>株式会社栗田園より下請け作業。お菓子を入れる化粧箱の組立作業を行います。1</p>

	<p>回につき 400～600 個を週に 1 度受注納品します。</p> <p><u>段ボール組み立て</u> コンポー株式会社より下請け作業。コンスタントに納品できるように、毎回 2, 000 個の納品を行うよう、計画的に作業を勧めます。</p> <p>*現在の受注先との良好な関係を維持し、絶えず仕事を任せていただけるよう努め、受注量の拡大も図ります。また、新たに依頼される仕事に関しては、利用者が関わられるか否かを見極めた上、作業として取り入れていきます。</p>
自主制作 作業	<p>パン・菓子袋、*<u>カレンダー</u>等の地の星独自の作品を制作します。利用者とスタッフは固定し、継続した活動を実施します。利用者は、個別支援計画に準じて参加します。手作り作業が好きな気持ちを維持できる様に「成功体験」「やりがい」を大切にします。また、商品化の可能性がある作品は販売を進めていきます。</p>

*創作活動で各階が作成した壁画を、カレンダーにして販売等ができるようにしていきます。

・ 自立活動

心身の安定を目的とし、自立的な活動（他人から必要以上に干渉されることなく、本人のペースで行う作業）を取り入れます。個別支援計画にも明確に記載して実施します。

例) 編み物、紙ちぎり、折り紙、パズルなど

・ 地域公益活動（美化パトロール）

恩田川沿いを中心にゴミ拾いを行い、地域の清掃活動を実施します。また、地域住民との挨拶を積極的に行い防犯活動としての役割も担っていきます。

・ 小行事

七夕、ハロウィンなど、季節に応じた行事を各フロアで実施します。内容は、利用者の会で決定し、利用者の希望に応じて、おやつ等を購入します。

就労継続支援 B 型

「ベロニカ苑Ⅱ」

基本方針

「社会福祉法人地の星の理念に沿って、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を提供し、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な支援を行う」

2022 年度重点目標

- (1) 個別支援計画に基づき目標を常に意識し、共通した支援を行う。
- (2) 利用者獲得に向け努力していく。
 - ・各関係機関(養護学校、相談支援事業所等)や法人ホームページ及び広報誌を活用する。
 - ・生活介護からの希望者を受け入れていく。
- (3) 感染症対策をしっかりと行い、各生産活動等を実施していく。

1、生産活動

(1) 機織り

利用者個々が機織り機での製品作りを行い、技術力が向上するよう支援する。また、生産量を増やすため、織り機の追加購入を行っていく。

(2) ジャム作り

材料の仕入れのうち、梅はご協力をいただいている農園で収穫し、その他は産地（国産）より仕入れ、下処理作業を行う。添加物を使用せず完全手作りのジャムを製造する。製造以外に瓶用ラベルを切り・貼りの仕上げ作業や卸売先への納品を利用者と共に行い在庫管理、売上管理などをスタッフが行う。昨年、4種類のミニサイズジャムを商品化した。消費者のニーズに合わせたギフト商品を企画販売していく。

(3) お菓子製造

利用者に関わる製造、衛生管理を支援する。既存の商品に加え、魅力ある新商品を開発し、販売していく。季節毎に消費者のニーズに合わせた商品の製造販売も行っていく。

また、小麦粉等原材料が高騰しているため、お菓子の値上げの検討も行っていく。

(4) 販売活動

販売活動を通して地域との交流を行い、商品 PR、利用者の活動の機会を提供する。利用者の会にてどのような製品がよいか意見を出し合い、お客様に喜ばれる作品作りを行っていく。

定期販売として市役所、清風園、不定期に土曜、日曜、祝日に開催される地域のイベント等に参加する。

ジャムの卸し先店舗に納品し、販売促進活動を行う。又、年賀ハガキ、切手、町田市指定ゴミ袋なども販売していく。売上向上の為、季節のギフト商品を企画、販売を年2～3回程度行う。利用者は接客(商品の袋詰め、値札貼り、レジ打ち等)を行う。

(5) 清掃活動

事業所内の清掃作業を細分化し、利用者の清掃作業技術向上を支援する。又、地の星に設置してある自動販売機を定期的に清掃する。

(6) 研修

仕事に向き合う姿勢や社会人としてのマナーを学習するため、社会状況を見つつ、可能であれば施設外研修を行う。工場見学や他のB型事業所見学など、利用者の方々を中心に企画、立案、実施する。

また、市場調査などの外出や外食の機会を設け、地域の人々との交流や街の中の動きを直に感じられるようにする。

(7) 園芸

土壌改良した畑に昨年度収穫した野菜や新たに育てたい野菜、ハーブを利用者の会で提案してもらい育てていく。春～秋にかけて水やり、雑草取り、収穫を行う。

(8) 創作活動

切り絵カード等、利用者個々の適性を見出し新しい商品を作り出していく。風タピオラ店舗や作業場所に飾る季節に応じた作品を製作する。

(9) 請負作業

今後の工賃向上のためにもシール貼り等自立して行える請負作業を開拓していく。

2、日常生活

自己決定・意思決定支援

ミーティングや利用者の会を行い、司会や進め方のプロセス、「想い」を表現し言葉にすることを学習していく。

(1) 作業支援

- ① 自立して作業が出来るよう促す。
- ② 適性を見出し、作業を提供する。
- ③ スキルアップの為の知識を習得出来るよう支援する。

(2) 個別支援計画作成

自立した日常生活を送ることができるよう、丁寧に面談し希望を聴き取り、個別支援計画を作成する。また、6ヶ月毎にモニタリングを行っていく。

(3) 日課や作業能力向上への支援

朝の出勤から作業活動の準備（着替えや手洗い等）、作業終了後の連絡帳記載、掃除等を身に付けていく。販売活動に必要なスキル獲得の為の支援を行う。

(4) 健康維持

健康で暮らすことができるよう年1回の健康診断のほか、細菌検査や歯科衛生士による歯磨き指導を行う。また、必要に応じて看護師の巡回も実施する。感染症対策として換気、水分補給を促していく。体力増進のため朝ミーティングの後、ラジオ体操を行う。

(5) 相談支援

定期的または随時相談ができるよう配慮し、思いが伝えられるよう支援していく。

(6) 定着支援(アフターケア)

一般就職されている方に対して、職場定着のため会社訪問や本人と話す機会を設け、必要な相談や支援を行う。

3、防災訓練

毎月1回防災訓練を行い非常時に備える。防災意識を育てるため、避難場所の確認・方法を確認していく。また、防災マニュアルに従い、防災用品の拡充を図っていく。

4、苦情解決

利用者・ご家族からの苦情は、法人の苦情対応規程に沿って受け付け解決していく。第三者委員との面談も必要に応じて設定する。

5、利用者の会

事業所内での約束事やビジネスマナー、行事の相談、新商品開発、新たな生産活動のアイデア、研修や地域との交流等の様々なテーマを話し合い、利用者の皆さんが主体的に運営に参加できるよう支援する。

6、店舗運営

焼き菓子、ジャム、機織り、手芸品、野菜、ゴミ袋、飲料等の販売を行う。ギフトや記念セールの際に合わせチラシ配布を行い、販売促進を図る。

7、実習・ボランティアの受け入れ

特別支援学校等のインターンシップにも協力していく。また一般社会と施設をつなぐボランティアも募集していく。

8、スタッフ研修

スタッフ個々の専門職としての支援技術を研鑽し業務の標準化を図るため、法人の理念やスタッフの行動指針に基づいた研修、虐待防止、リスクマネジメントに関する研修を行う。施設内外の研修に積極的に参加し、自ら必要な知識の習得に取り組む。

9、年間スケジュール

	4月 5月 6月	7月 8月 9月	10月 11月 12月	1月 2月 3月
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
機織り 小物作 品	<ul style="list-style-type: none"> ・コースター ・切り絵カード ・新製品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・コースター ・切り絵カード ・新製品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・コースター ・切り絵カード ・新製品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・コースター ・切り絵カード ・新製品作り
ジャム	<ul style="list-style-type: none"> ・苺仕入れ ・市内農園で梅収穫、下処理 ・梅ジャム（期間限定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅ジャム（期間限定） ・苺仕入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじりんご仕入れ、下処理 ・柚子仕入れ、下処理 ・柚子マーマレード（期間限定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・柚子マーマレード（期間限定） ・苺仕入れ ・レモン仕入れ ・甘夏みかん仕入れ、下処理
お菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・パウンドケーキ製造 ・クッキー製造 ・米粉商品製造 ・新商品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・パウンドケーキ製造 ・クッキー製造 ・米粉商品製造 ・新商品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・パウンドケーキ製造 ・クッキー製造 ・米粉商品製造 ・新商品作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・パウンドケーキ製造 ・クッキー製造 ・米粉商品製造 ・新商品作り
園芸	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマト植え付け ・ピーマン植え付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマト収穫 ・ピーマン収穫 ・じゃがいも収穫 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉物野菜種まき 	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも植え付け ・葉物野菜収穫
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外部販売（市役所、旧店舗前販売、清風園） ・細菌検査 ・日帰り研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部販売（市役所、旧店舗前販売、清風園、ベロニカ苑まつり、鹿島自治会夏祭り、成瀬コミュニティセンター祭り） ・サマーギフト製造販売 ・モニタリング・健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部販売（市役所、旧店舗前販売、清風園、成瀬駅前市民センター祭り、いきいき祭り、南地区福祉フェア） ・ハロウィンギフト製造販売 ・年賀状販売(1月まで) ・ウインターギフト製造販売 ・クリスマスミサ研修・賞与 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部販売（市役所、旧店舗前販売、清風園） ・個人面談 ・総合防災訓練 ・11周年フェア

10、基本的な日課

時間	内 容
9 : 00	出勤 身支度、出勤簿
9 : 15	朝のミーティング 作業打合せ、各種連絡など
9 : 30	作業開始 (途中 10 分、5 分休憩)
11 : 45	作業終了 片付け
11 : 50	10 分間ストレッチ
12 : 15	昼食、休憩
13 : 00	午後の作業開始 開始時にラジオ体操 (途中 10 分、5 分休憩)
15 : 20	作業終了 日誌 (連絡帳) 記入、水分補給、掃除
15 : 40	帰りのミーティング
16 : 00	退勤

*各自日誌 (連絡帳) を用意し、毎日記帳する。

*面談の場合 作業の時間帯

*外出先等は利用者の会で決めていく。

共同生活援助

「ひかり」

基本方針

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて支援します。

共同生活住居において入浴、排泄又は食事等の支援、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行い、安らぎの場所となるよう努力をします。

防災に関しては昨年度に改訂した消防計画、防災マニュアルに基づき行っていきます。定期的に避難訓練を実施し、利用者、スタッフ共に緊急時に適切な避難を行えるよう訓練を重ねていきます。

また、感染症対策や季節に応じ快適な生活が送れるよう環境を整えます。

ユニット1 ひかり

現在4名の女性入居者が生活しています。(定員4名)

30代～70代と幅広い年代の方が入居されているので、それぞれのニーズに合わせた支援を行っていきます。また、栄養士の献立によるバランスのとれた食事や健康チェックを欠かさず、ゆったり過ごせる日常生活を提供します。

地域の一員として、無理のない範囲で掃除当番やイベントなどに参加し、生きがいのある社会生活が送れるよう支援します。年末年始などではできるだけ、豊かな気持ちで過ごすことができるよう配慮していきます。

また、高齢化に伴う生活の変化に対応できるようケアマネジャーと連携していきます。

ユニット2 ひかり神社前(通称神社前)

現在、男性6名、女性4名、計10名の入居者が生活しています。(定員10名)

入居者は個々の特性や家庭等の環境も大きく違うので、その状況に合わせた支援を行います。第2の家庭として、安心してくつろぐ事ができるような生活空間を提供していきます。朝夕の食事は栄養士献立による物とし、休日の昼食は買い弁当など選択自由とします。

利用者の皆さんが一番大切に思っているご家族、後見人等と連携し、それぞれの状況に応じて帰省や面会を行っていきます。また、一人の社会人として休日が充実したものとなるよう支援します。ご家族、後見人等の方には生活状況をご報告し、ご意見を伺う場として家族の会を開催します。

ユニット3 つばさ

現在、3名の男性入居者が生活しています。(定員3名 ⇒ 今年度中に1名増員予定)

入居者(20代～50代)の年齢層は幅広く、若く行動的な方や身体的に不自由な方が生活されています。それぞれの楽しみ、趣味等を大切にしながら、安全で落ち着いた生活が送れる支援を行っていきます。朝夕は栄養士献立の食事を提供します。

休日はヘルパー外出や帰省等を個々が楽しみ、また、ゆっくり過ごすことができるよう配慮していきます。地域の一員として相互に協力し合える関係性を目指します。

利用者の会

利用者の意見・希望・要望を傾聴する場として、またそれぞれの利用者の自己主張する力を高めるため、毎月開催します。利用者が主体となって話し合えるよう支援します。

防災マニュアル及び消防計画

各ユニットの特徴に合わせた防災マニュアル、消防計画を作成しています。

防災訓練は各ユニットで毎月行い、防災への意識を高め非常時に備えます。また、地域の防災訓練等にも積極的に参加し、非常時には地域からの応援もいただけるよう働きかけていきます。防災用品の維持管理も行っています。

苦情受付

よりよいサービスを目指し、利用者やご家族からの要望・苦情をお受けし、法人の「福祉サービスに関する苦情解決制度」を利用しやすいように支援します。

年間の行事

利用者の皆さんの生活を豊かにして社会参加を促し、仲間やスタッフとの触れ合いを深めるため、別表のような年間行事を行います。

環境対策

電気・水道などのエネルギーの無駄遣いを減らし、ユニット内の清掃にも関わり自分たちが住みやすくするように環境美化への意識を高めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザやノロウイルス等への対策も実施していきます。

スタッフ会議

情報共有やスタッフ同士のコミュニケーションを図り、よりよい支援が提供できるよう、定期的に会議を開催します。(月各1回：グループホーム責任者会議、グループホーム会議)

スタッフ研修

スタッフ個々の専門職としての知識や技術を研鑽し業務の標準化を図るため、法人の理念やスタッフの行動指針に基づいた研修、虐待防止、利用者の重度化・高齢化に対応する研修を行います。

施設内や外部で行う研修に積極的に参加、またサポーターズカレッジ（インターネットの動画研修）を利用した研修講座を活用し、自ら必要な知識の習得に取り組みます。

その他

日中活動(施設、会社)との連携を強化し、利用者にとって過ごしやすい環境作りを目指します。

グループホーム 基本的な日課

時間	ユニット1(ひかり)		ユニット2(神社前)		ユニット3(つばさ)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日
6:00	起床、検温、身支度	起床、検温、身支度	起床、検温、身支度	起床、検温、身支度	起床、検温、身支度	起床、検温、身支度
7:00	朝食、片付け	朝食、片付け	朝食、下膳	朝食、下膳	朝食、下膳	朝食、下膳
8:00	出勤	掃除、洗濯、帰省、	出勤	掃除、洗濯、	出勤	掃除、洗濯
10:00	日中活動先へ	外出	日中活動先へ	帰省 外出	日中活動先へ	帰省、外出
12:00	↓	昼食(買い弁当、外食)	↓	昼食(買い弁当、外食)	↓	昼食(買い弁当、外食)
14:00	↓	おやつ	↓	おやつ	↓	おやつ
15:00	↓	おやつ	↓	おやつ	↓	おやつ
16:00	帰宅、検温、お茶	検温、入浴、洗濯	帰宅、検温、お茶	検温 入浴、洗濯	帰宅、検温、お茶	検温 入浴、洗濯
17:00	入浴、洗濯		入浴、洗濯	入浴、洗濯	入浴、洗濯	入浴、洗濯
18:00	夕食、片付け	夕食、片付け	夕食、下膳	夕食、下膳	夕食、下膳	夕食、下膳
19:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
20:00	お茶	お茶	お茶	お茶	お茶	お茶
21:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
23:00						
0:00						

特定相談支援事業

「地の星なんでも相談室」

1. 事業の目的

社会福祉法人地の星が開設する特定相談支援事業地の星なんでも相談室(以下事業所という)が、適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業者が、障害者に対し、適正な特定相談支援を行うことを目的とする。

2. 基本方針

利用者の意思を尊重し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、関係市区町村、保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り、総合的なサービス提供に努める。

3. 事業所の所在地

東京都町田市西成瀬三丁目 6 番 14 号

4. 職員体制

管理者(常勤兼務) 1名

相談支援専門員(常勤兼務) 1名以上

相談支援専門員補助(非常勤専従) 1名

5. 営業日及び営業時間、サービスの提供

- (1) 営業日 月曜日から金曜日 ただし、祝日及び12月26日から1月6日までを除く。
- (2) 営業時間 午前10時から午後3時までとする。
- (3) サービス提供時間 上記営業時間の内、4時間とする。

6. 事業内容

(1) 基本相談(地域貢献事業)

障害のある方からの相談に応じ、必要な支援を提供する。

(2) 計画相談

障害のある方が障害福祉サービスを利用する前にサービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の計画相談支援を行う。モニタリングは原則として居宅等に訪問して実施する。

7. 計画相談新規契約予定数 1名/月

現在、地の星に在籍している利用者のうち、計画相談事業所が確定していない利用者が6名おり、ニーズの聞き取りを行っていく。

日程	2022年4月	2022年5月	2022年6月
契約予定数	2名	2名	2名

8. 計画相談継続支援予定数 5.83名/月平均

日程	2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月
継続支援 予定数	7名	4名	3名	7名	6名	3名	8名	7名	5名	7名	7名	4名

9. 主たる対象者

知的障害者(18歳未満の者を除く)

10. 通常の事業の実施地域

町田市南地域（鶴間、小川、つくし野、南つくし野、金森、金森東、南成瀬、成瀬、成瀬が丘、西成瀬、成瀬台、高ヶ坂、南町田）

11. 苦情解決

事業所は、提供した事業に関する利用者等及びその家族からの苦情には、地の星苦情対応規程に基づき、迅速かつ適切に対応する。

12. 虐待の防止のための措置

事業所は、利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスに努め、また地の星虐待防止マニュアルに基づき虐待の防止に必要な措置を講じるとともに、虐待を受けている恐れがある場合はただちに防止策を講じ、町田市及び東京都へ報告する。

13. スタッフ研修

スタッフ個々の専門職としての技能技術を研鑽し業務の標準化を図るため、法人の理念やスタッフの行動指針に基づいた研修、虐待防止に関する研修を行う。

研修は、施設内や外部で行う研修に積極的に参加し、自ら必要な知識の習得に取り組む。

短期入所 「のぞみ」

【のぞみ】

グループホーム「ひかり神社前」に併設され、定員は男性1名、女性1名の計2名。
介護を受ける事が一時的に困難になった利用者の状況及び環境に応じて、食事、排泄、入浴など、その他必要な支援を行う。

*生活

グループホーム入居者の生活や生活空間を乱すことのないように、また地域住民との共生社会の形成を目指した支援を行っていく。

*利用申込み

利用月の2ヶ月前からとし、以後空き状況に応じて受付ける。
緊急時の相談にも応じていく。

*利用率の向上に向けて

- ・空き状況を適時メールにて送信する。
- ・契約済みながら利用されていない方へ、個別に情報の発信や相談の受付をしていく。
- ・女性利用者の獲得が喫緊の課題となっている。地の星の女性利用者の多くは生活共同援助の支給決定がされており短期入所は利用できないことから、他法人への直接のはたらきかけをし、利用者獲得を目指す。

*感染症への対応

- ・感染症対策として、時間差での食事提供や居室の消毒を実施する。
- ・契約者家族が感染で入院等をし、利用者の日常生活の支援が困難になった場合短期入所の受入れをする。

地域生活支援事業 「こだま」

【こだま】

活動時間外でケアが必要となった場合のタイムケア、宿泊ケアを行に対応し、活動場所は地の星館内とする。

利用申込みは3日前までの申込みとしているが、状況により柔軟な対応を目指す。

「居宅介護支援事業及び行動援護 準備室」

1, 居宅介護支援事業及び行動援護を開設する目的

障害等がある方の通院や余暇活動を行うにあたり、年々ガイドヘルパーを利用する方が増加している。しかし現存の町田市及び近隣市の移動支援事業だけでは、そのニーズの多様化に対応が出来ない状況がある。そのため障害福祉に特化している地の星が移動支援事業を立ち上げることで、今まで利用が難しかった利用者の受け皿になり、社会生活の充実を図る。

2, 居宅介護支援事業とは

家庭での生活及び他生活全般にわたる援助。
(食事や通院、官公庁の手続き及び選挙など)

3, 行動援護（ガイドヘルプ）とは

外出時に必要な同行や見守りの援助。
(買い物、冠婚葬祭、コンサート、カラオケなど)

4, 対象者

障害者及び障害児（知的・身体・精神）

5, 指定要件

(ア) 法人格を有し新規にサービスを行う場合は、その旨を法務局で定款の事業目的変更登記の手続きを行い、東京都へ申請を以下の手順で行う。

(申請までの流れ) *一般的な手順

ア) 準備：常勤換算 2.5 以上の職員及びヘルパー等の確保

イ) 申請予約：申請する前に事業所設立の予約を行う。

ウ) 申請書類添付書類の作成：事業所の写真 備品を揃えた上での図面・写真

エ) 申請：受付期限内に受理されるように

オ) 審査

カ) 指定書交付

キ) 事業開始

(イ) 人員要件

・管理者（常勤）*資格要件は特になし サービス提供責任者との兼務が可能
ただしサービス提供責任者は以下のいずれかの資格が必要

ア) 介護福祉士 イ) 実務者研修者 ウ) 訪問介護員 1 級 エ) 居宅介護従業者養成研修 1 級 オ) 看護師・准看護師 カ) 介護職員基礎研修 キ) 居宅介護職員初任者研修+実務経験 3 年以上 ク) 介護職員初任者研修+実務経験 3 年以上 ケ) 訪問介護員 2 級 コ) 居宅介護事業者養成研修 2 級

・従事者 常勤換算 2.5 人以上 *介護福祉士、居宅介護事業者養成研修課程等修了者

(ウ) 設備要件

- ・事務室：職員、設備備品が収容でき、利用申込の受付などが適切に対応でき、以下の設備等が整えられる広さを有することが定められている。(部屋の広さの規定はない)
 - ア) 相談室：遮へい物を設置するなど相談者のプライバシーに配慮されていること。
 - イ) 衛生及び設備：感染予防のための手指洗浄設備があること（洗面所など）
 - ウ) 他設備：電話、ファックス PC プリンター 鍵のかかる書庫があること

6, 居宅介護準備室について（開設にあたって）

- ・現在地の星で他事業所の居宅介護を利用している方が半数以上いる。しかし特にグループホームに入居している利用者は、通院のヘルパーも見つからずスタッフが同行している。そのためまずは地の星利用者中心に実際にどのような支援を必要としているのか把握し、利用が出来ていない必要な支援を提供できる体制を整える。その後、その支援を請け負うスタッフの確保と必要に応じての研修の受講を行っていく。
- ・地の星スタッフにこの居宅介護事業の必要性を理解してもらい、地の星全体でバックアップできる組織作りを行う。
- ・経営面では事業運営に係る収支を確保するため、地の星以外利用者の利用ニーズの把握も行い、収入面の確保を算出する。

→ 上記の目途が付き次第申請を行い、今年の事業開始を目指す。